TORAY
Innovation by Chemistry

2014年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社

2013年11月7日

目次

Ⅰ．2014年3月期第2四半期決算の概要

2014年3月期第2四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析（第2四半期累計期間）	(P17)
主要子会社収益状況（第2四半期累計期間）	(P18)
セグメント別営業利益　1Qvs2Q比較	(P19)

Ⅱ．2014年3月期連結業績見通し

2014年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P24)

Ⅰ．2014年3月期第2四半期決算の概要

2014年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	13年3月期 第2四半期 (7～9月)	**14年3月期 第2四半期 (7～9月)**	増減	13年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	**14年3月期 第2四半期累計 (4～9月)**	増減
売上高	3,896	**4,510**	+614 (+15.8%)	7,537	**8,538**	+1,000 (+13.3%)
売上原価	3,135	**3,627**	+492 (+15.7%)	6,048	**6,886**	+838 (+13.9%)
売上総利益	761	**883**	+122 (+16.0%)	1,489	**1,651**	+162 (+10.9%)
(売上高総利益率)	19.5%	**19.6%**	+0.0 ポイント	19.8%	**19.3%**	−0.4 ポイント
販売費及び一般管理費	567	**620**	+53 (+9.4%)	1,122	**1,208**	+86 (+7.7%)
(売上高販管費比率)	14.6%	**13.8%**	−0.8 ポイント	14.9%	**14.2%**	−0.7 ポイント
営業利益	194	**263**	+68 (+35.2%)	367	**443**	+76 (+20.7%)
(売上高営業利益率)	5.0%	**5.8%**	+0.8 ポイント	4.9%	**5.2%**	+0.3 ポイント
営業外収支	▲ 5	**3**	+8	13	**22**	+9
経常利益	189	**265**	+76 (+40.1%)	380	**465**	+85 (+22.3%)
特別損益	▲ 42	**▲ 25**	+16	▲ 67	**▲ 27**	+40
税前利益	148	**240**	+92 (+62.4%)	313	**438**	+125 (+40.0%)
四半期純利益	99	**161**	+62 (+62.4%)	200	**294**	+94 (+46.8%)

		(13/3 2Q) → (14/3 2Q)	(13/3 2Q累計) → (14/3 2Q累計)
為替レート ＜円／US$＞	期中平均 :	78.6 → 99.0	79.4 → 98.9
	期末 :	77.6 → 97.8	
＜円／ユーロ＞	期中平均 :	98.4 → 131.1	100.6 → 130.0
	期末 :	100.2 → 131.9	
原油価格 ＜US$／バレル＞			
(DUBAI FOB)	期中平均 :	106.3 → 106.3	106.3 → 103.5

(注)3月期決算会社は7～9月の業績、12月期決算会社は4～6月の業績を連結

営業外収支

億円

		13年3月期 第2四半期 (7～9月)	14年3月期 第2四半期 (7～9月)	増減	13年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	14年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	増減
営業外収益		33	35	+2	75	87	+12
	受取利息及び配当金	5	5	−0	19	20	+1
	持分法による投資利益	16	16	+0	33	38	+5
	雑収入	12	14	+2	22	29	+7
営業外費用		▲ 38	▲ 32	+6	▲ 61	▲ 65	−3
	支払利息	▲ 14	▲ 13	+1	▲ 28	▲ 26	+2
	雑損失	▲ 24	▲ 19	+5	▲ 33	▲ 39	−6
営業外収支		▲ 5	3	+8	13	22	+9
金融収支		▲ 9	▲ 8	+1	▲ 9	▲ 6	+3

注）収益はプラス、費用はマイナス（▲）で表示

特別損益

億円

		13年3月期 第2四半期（7～9月）	14年3月期 第2四半期（7～9月）	増減	13年3月期 第2四半期累計（4～9月）	14年3月期 第2四半期累計（4～9月）	増減
特別利益		0	67	+67	1	72	+70
	有形固定資産売却益	0	0	+0	1	2	+1
	投資有価証券売却益	0	0	+0	0	1	+1
	受取保険金	−	67	+67	−	69	+69
	その他	−	0	+0	−	0	+0
特別損失		▲ 42	▲ 93	−51	▲ 69	▲ 99	−30
	有形固定資産処分損	▲ 10	▲ 10	−0	▲ 14	▲ 16	−2
	減損損失	−	▲ 82	−82	−	▲ 82	−82
	災害による損失	▲ 9	−	+9	▲ 18	−	+18
	投資有価証券評価損	▲ 21	▲ 0	+21	▲ 35	▲ 0	+35
	その他	▲ 2	▲ 1	+1	▲ 2	▲ 1	+1
ネット特別損益		▲ 42	▲ 25	+16	▲ 67	▲ 27	+40

注）収益はプラス、費用はマイナス（▲）で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	13年3月末	13年9月末	増減
資産合計	17,319	18,767	+1,448
流動資産	7,967	8,833	+866
有形固定資産	6,272	6,562	+289
無形固定資産	426	419	−7
投資その他	2,653	2,953	+300

	13年3月末	13年9月末	増減
負債合計	9,533	10,182	+649
流動負債	5,503	5,502	−1
固定負債	4,030	4,680	+650
純資産合計	7,786	8,585	+799
有利子負債残高	5,320	5,783	+463
D／Eレシオ	0.73	0.72	−0.01

＜フリー・キャッシュ・フローの状況＞

億円

	13年3月期 第2四半期累計（4～9月）	14年3月期 第2四半期累計（4～9月）	増減
営業活動	133	229	+96
投資活動	▲481	▲536	−55
フリー・キャッシュ・フロー	▲348	▲307	+41

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	13年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	14年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	増減	特記事項
設備投資額	437	465	+28	東レ:73、連結子会社:392
減価償却費 (ー)	311	374	+62	東レ:154、連結子会社:219
振替・除却等	2	198	+196	
有形固定資産増減	128	289	+161	
研究開発費	262	275	+12	

主な設備投資:

TMQ (Toray Medical (Qingdao) Co., Ltd.) :人工腎臓生産設備

CFE (Toray Carbon Fibers Europe S.A.)ほか:炭素繊維生産設備

TTCE (Toray Textiles Central Europe s.r.o.):水なし平版生産設備

セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	13年3月期 第2四半期（7～9月）	**14年3月期 第2四半期（7～9月）**	増減	13年3月期 第2四半期（7～9月）	**14年3月期 第2四半期（7～9月）**	増減
繊維	1,531	**1,819**	+288 (+18.8%)	98	**139**	+41 (+41.8%)
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	977	**1,146**	+169 (+17.3%)	50	**47**	−3 (−6.3%)
情報通信材料・機器	631	**644**	+14 (+2.2%)	55	**63**	+9 (+15.6%)
炭素繊維複合材料	182	**277**	+95 (+52.3%)	20	**45**	+26 (+128.5%)
環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	397	**443**	+46 (+11.6%)	1	**4**	+3 (+451.4%)
ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	139	**143**	+5 (+3.3%)	14	**12**	−2 (−16.2%)
その他	40	**37**	−3 (−6.6%)	4	**5**	+1 (+22.0%)
計	3,896	**4,510**	+614 (+15.8%)	242	**316**	+74 (+30.5%)
調整額				▲ 48	**▲ 53**	−5
連結	3,896	**4,510**	+614 (+15.8%)	194	**263**	+68 (+35.2%)

	売上高			営業利益		
	13年3月期 第2四半期累計（4～9月）	**14年3月期 第2四半期累計（4～9月）**	増減	13年3月期 第2四半期累計（4～9月）	**14年3月期 第2四半期累計（4～9月）**	増減
繊維	2,889	**3,351**	+462 (+16.0%)	185	**242**	+56 (+30.4%)
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	1,950	**2,280**	+330 (+16.9%)	105	**90**	−15 (−14.3%)
情報通信材料・機器	1,211	**1,220**	+8 (+0.7%)	96	**108**	+12 (+12.3%)
炭素繊維複合材料	365	**521**	+155 (+42.5%)	42	**71**	+29 (+69.1%)
環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	781	**831**	+49 (+6.3%)	▲ 0	**6**	+7 (－)
ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	270	**266**	−4 (−1.4%)	30	**19**	−11 (−38.1%)
その他	71	**69**	−2 (−2.6%)	7	**7**	+0 (+7.1%)
計	7,537	**8,538**	+1,000 (+13.3%)	465	**543**	+78 (+16.8%)
調整額				▲ 98	**▲ 100**	−2
連結	7,537	**8,538**	+1,000 (+13.3%)	367	**443**	+76 (+20.7%)

セグメント別業績（繊維）

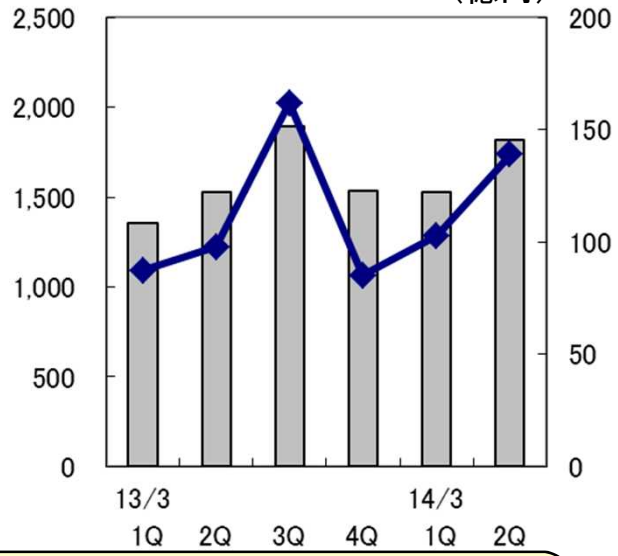
TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	248	267	+19	(+7.7%)	506	545	+39	(+7.6%)
	国内	772	859	+86	(+11.2%)	1,405	1,567	+162	(+11.5%)
	海外	510	693	+183	(+35.9%)	977	1,238	+261	(+26.8%)
	計	1,531	1,819	+288	(+18.8%)	2,889	3,351	+462	(+16.0%)
営業利益	東レ	32	38	+6	(+20.1%)	72	85	+14	(+19.0%)
	国内	27	33	+6	(+21.8%)	47	51	+4	(+8.9%)
	海外	50	77	+27	(+54.0%)	80	122	+42	(+53.0%)
	修正	▲ 11	▲ 10	+2		▲ 13	▲ 17	−4	
	計	98	139	+41	(+41.8%)	185	242	+56	(+30.4%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
（億円）



2Q（7～9月）

国内の衣料用途は、機能性秋冬物衣料用途向けの販売は堅調に推移したが、その他一般衣料用途は弱含みに推移。産業用途は、自動車メーカーの生産拡大に伴い、エアバッグ向け等が堅調に推移。

海外では、欧州の景気不振や、中国内需の伸び悩みなど、依然厳しい状況が続いたが、東南アジアや中国のテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを推進。なお、前年同期に若干残っていたタイの洪水の影響は解消。

2Q累計（4～9月）

国内の衣料用途では、機能性秋冬物衣料用途向けの販売が堅調に推移したが、その他一般衣料用途の販売は回復の兆しはあるものの弱含みで推移。一方、円高修正の影響もあり輸出は回復基調。産業用途は、自動車関連用途向け需要は底打ちしたものの、エコカー補助金の効果で好調だった前年同期の水準までの回復には至らなかった。

海外では、欧州の景気不振や、中国内需の伸び悩みなど、依然厳しい状況が続いたが、東南アジアや中国のテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを推進。なお、2011年10月に発生したタイ洪水の影響が前年同期には残ったが、生産・販売ともに回復し業績の改善に寄与。

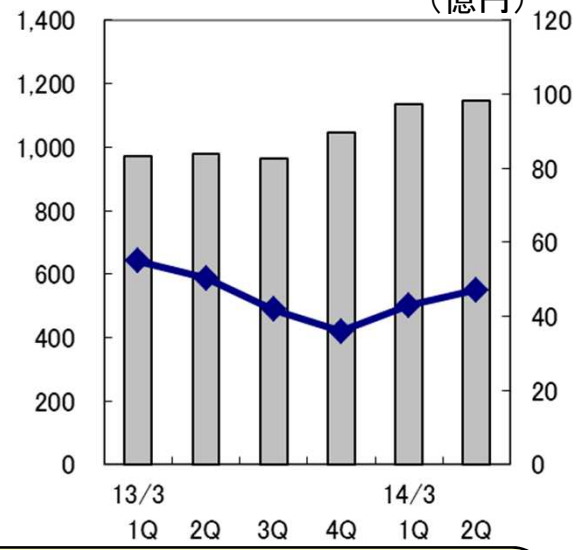
セグメント別業績（プラスチック・ケミカル）

TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	186	204	+17	(+9.2%)	372	410	+39	(+10.4%)
	国内	329	456	+127	(+38.5%)	672	892	+220	(+32.7%)
	海外	462	487	+25	(+5.4%)	906	978	+72	(+7.9%)
	計	977	1,146	+169	(+17.3%)	1,950	2,280	+330	(+16.9%)
営業利益	東レ	1	▲ 5	−7	(－)	10	▲ 4	−14	(－)
	国内	16	18	+2	(+10.4%)	34	40	+5	(+15.8%)
	海外	33	34	+1	(+3.4%)	58	53	−5	(−9.0%)
	修正	0	1	+1		3	2	−1	
	計	50	47	−3	(−6.3%)	105	90	−15	(−14.3%)

売上高 ＜棒グラフ＞　営業利益 ＜線グラフ＞



2Q（7～9月）

樹脂　： 国内を中心に、自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長。一方で、円高修正に伴う原料価格上昇の影響を受けた。海外では、中国向け出荷が伸び悩み、汎用ABS樹脂の荷動きは低調に推移したが、高付加価値品の拡販を推進。

フィルム： 国内ではハイブリッドカー用コンデンサー向けなどの出荷は堅調に推移したが、全般的には国内外ともに需要は低調に推移し、価格競争が継続。

2Q累計（4～9月）

樹脂事業では、国内では、自動車関連用途向け需要は堅調に推移したが、円高修正に伴う原料価格上昇の影響を受けた。海外では、北米自動車用途や東南アジアでの販売が拡大。

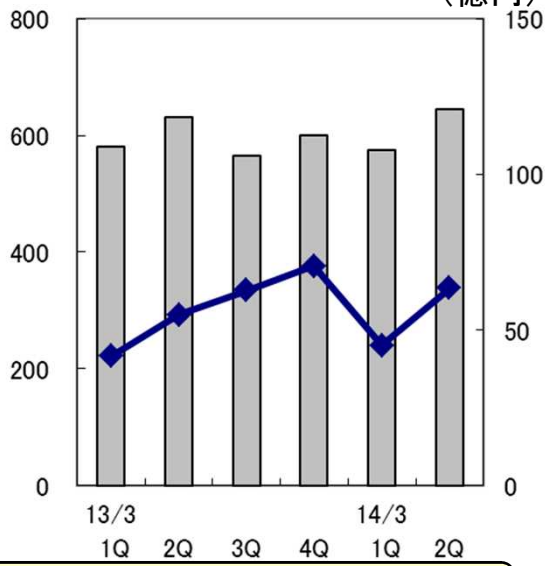
フィルム事業では、国内ではハイブリッドカー用コンデンサー向けなどの出荷は堅調に推移したが、全般的には国内外ともに価格競争が継続。また、市況回復と海外ビジネスの好調を背景に、商事子会社が取扱高を拡大。

セグメント別業績（情報通信材料・機器）

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	257	208	−49	(−19.0%)	463	402	−61	(−13.2%)
	国内	182	203	+21	(+11.4%)	388	363	−25	(−6.4%)
	海外	192	233	+42	(+21.7%)	361	455	+94	(+26.1%)
	計	631	644	+14	(+2.2%)	1,211	1,220	+8	(+0.7%)
営業利益	東レ	33	25	−8	(−23.5%)	60	50	−10	(−16.5%)
	国内	10	16	+7	(+67.0%)	24	22	−2	(−7.5%)
	海外	21	30	+9	(+42.1%)	35	52	+17	(+50.0%)
	修正	▲ 9	▲ 8	+1		▲ 22	▲ 16	+6	
	計	55	63	+9	(+15.6%)	96	108	+12	(+12.3%)

売上高 ＜棒グラフ＞　営業利益 ＜線グラフ＞（億円）



2Q（7～9月）

大型液晶パネル関連材料は、薄型テレビの需要低迷により調整局面を迎えたが、スマートフォンやタブレット端末など中・小型ディスプレイ向け製品の販売は堅調に推移。海外では、韓国の回路材料関連子会社の業績が好調に推移。全般的に、最終製品の価格低下の影響などがあり、価格競争が継続。

2Q累計（4～9月）

薄型テレビ用大型液晶パネル向けフィルム及びフィルム加工品は、テレビの需要低迷により調整局面を迎えたが、スマートフォンやタブレット端末など中・小型ディスプレイ向け製品の販売は堅調に推移。海外では、韓国のフィルム及びフィルム加工品関連子会社や回路材料関連子会社の業績が好調に推移。全般的に、最終製品の価格低下の影響などがあり、価格競争が継続。なお、前年同期に比べて、国内子会社における機器の販売は減少。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

TORAY Innovation by Chemistry

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	１３年３月期第２四半期（７～９月）		１４年３月期第２四半期（７～９月）		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	206	33%	232	36%	+13%
電子部品・半導体・回路材料	251	40%	280	43%	+12%
記録材料	78	12%	78	12%	−0%
機器他	96	15%	55	8%	−43%
情報通信材料・機器セグメント合計	631		644		+2%

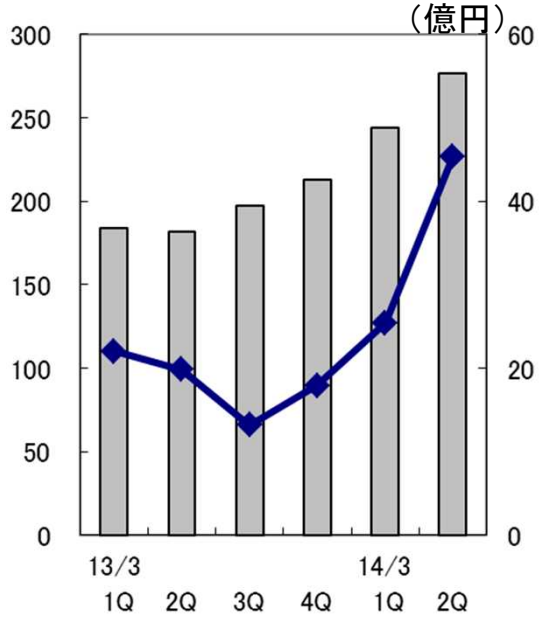
	１３年３月期第２四半期累計（４～９月）		１４年３月期第２四半期累計（４～９月）		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	404	33%	442	36%	+9%
電子部品・半導体・回路材料	480	40%	538	44%	+12%
記録材料	160	13%	153	13%	−4%
機器他	167	14%	87	7%	−48%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,211		1,220		+1%

セグメント別業績（炭素繊維複合材料）

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	155	221	+66	(+42.4%)	305	431	+126	(+41.2%)
	国内	103	129	+25	(+24.5%)	210	258	+48	(+22.6%)
	海外	158	222	+65	(+41.0%)	295	419	+124	(+41.8%)
	修正	▲ 234	▲ 295	−61		▲ 445	▲ 587	−142	
	計	182	277	+95	(+52.3%)	365	521	+155	(+42.5%)
営業利益	東レ	12	30	+19	(+161.0%)	26	41	+16	(+60.1%)
	国内	1	2	+1	(+52.3%)	2	4	+2	(+79.5%)
	海外	10	17	+7	(+74.5%)	23	31	+8	(+34.9%)
	修正	▲ 3	▲ 4	−1		▲ 9	▲ 6	+3	
	計	20	45	+26	(+128.5%)	42	71	+29	(+69.1%)

売上高＜棒グラフ＞　営業利益＜線グラフ＞



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

2Q（7～9月）

炭素繊維及び中間加工品（プリプレグ）の販売は、航空宇宙用途や圧縮天然ガスタンク等の環境・エネルギー関連用途を中心に好調に推移。また、成形品事業では、ノートブック型パソコン用に使用されている、高い強度を持ち軽量化を実現できる炭素繊維強化プラスチック製筐体の販売が伸長。

2Q累計（4～9月）

航空機需要の拡大や圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途や一般産業用途向けに炭素繊維及び中間加工品（プリプレグ）の販売が堅調に推移。また、成形品事業では、ノートブック型パソコン用に使用されている、高い強度を持ち軽量化を実現できる炭素繊維強化プラスチック製筐体の販売が拡大。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	13年3月期第2四半期（7～9月）		14年3月期第2四半期（7～9月）		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	77	42%	140	50%	+82%
スポーツ	26	14%	34	12%	+33%
一般産業	79	44%	103	37%	+30%
炭素繊維計	182		277		+52%

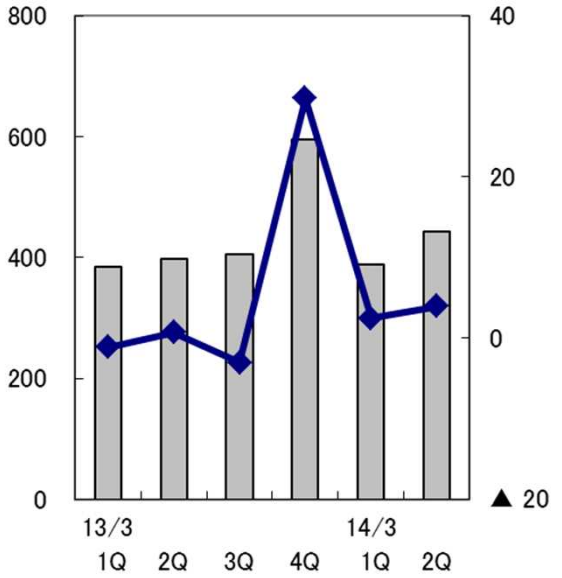
	13年3月期第2四半期累計（4～9月）		14年3月期第2四半期累計（4～9月）		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	154	42%	252	48%	+63%
スポーツ	55	15%	66	13%	+20%
一般産業	156	43%	203	39%	+30%
炭素繊維計	365		521		+43%

セグメント別業績（環境・エンジニアリング）

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	19	26	+7	(+37.9%)	35	47	+12	(+34.4%)
	国内	363	400	+37	(+10.2%)	723	753	+30	(+4.2%)
	海外	15	17	+2	(+11.2%)	24	31	+7	(+30.4%)
	計	397	443	+46	(+11.6%)	781	831	+49	(+6.3%)
営業利益	東レ	▲ 7	2	+8	(－)	▲ 14	2	+16	(－)
	国内	8	1	−7	(−84.9%)	14	▲ 1	−15	(－)
	海外	▲ 1	2	+3	(－)	▲ 2	2	+4	(－)
	修正	0	▲ 1	−1		2	4	+2	
	計	1	4	+3	(+451.4%)	▲ 0	6	+7	(－)

売上高＜棒グラフ＞　営業利益＜線グラフ＞（億円）



2Q（7～9月）

水処理事業　：水処理膜事業は、逆浸透膜の中東向けの拡販を推進することに加え、コストダウンの取り組みを徹底。

国　　内　：エンジニアリング子会社及び商事子会社は、堅調に推移したが、建設・不動産子会社は、不動産事業において前年同期に比べて完成案件が減少。

2Q累計（4～9月）

水処理膜事業では、世界経済の先行き不透明感が残る中で市場は本格回復には至っていないものの、当社では、中東向け逆浸透膜などの出荷が堅調に推移。国内子会社では、建設・不動産子会社の利益率が低下し、エンジニアリング子会社のプラント工事が減少。

セグメント別業績（ライフサイエンス）

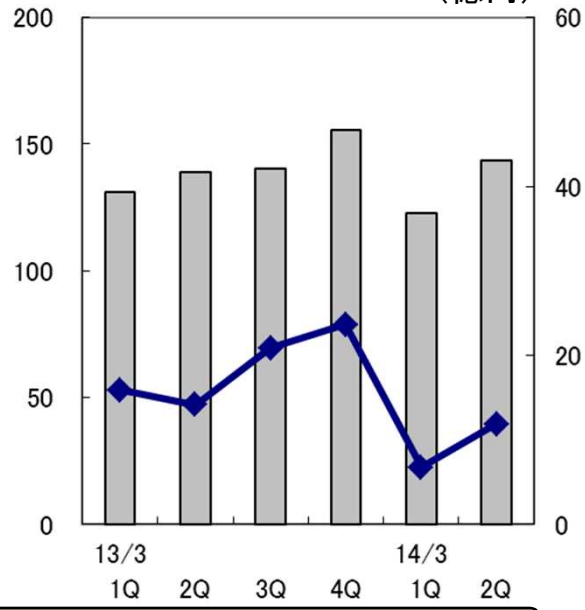
TORAY
Innovation by Chemistry

単位：億円

		2Q(7～9月)				2Q累計(4～9月)			
		13年3月期	14年3月期	増減		13年3月期	14年3月期	増減	
売上高	東レ	36	35	−1	(−2.4%)	74	69	−4	(−5.9%)
	国内	101	98	−3	(−3.1%)	192	180	−12	(−6.1%)
	海外	2	11	+9	(+359.5%)	4	17	+12	(+280.0%)
	計	139	143	+5	(+3.3%)	270	266	−4	(−1.4%)
営業利益	東レ	9	3	−6	(−64.2%)	26	12	−13	(−51.1%)
	国内	6	7	+0	(+4.5%)	8	7	−1	(−14.9%)
	海外	▲ 0	▲ 0	+0	(－)	▲ 1	▲ 1	−0	(－)
	修正	▲ 1	2	+3		▲ 3	0	+3	
	計	14	12	−2	(−16.2%)	30	19	−11	(−38.1%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
（億円）



2Q（7～9月）

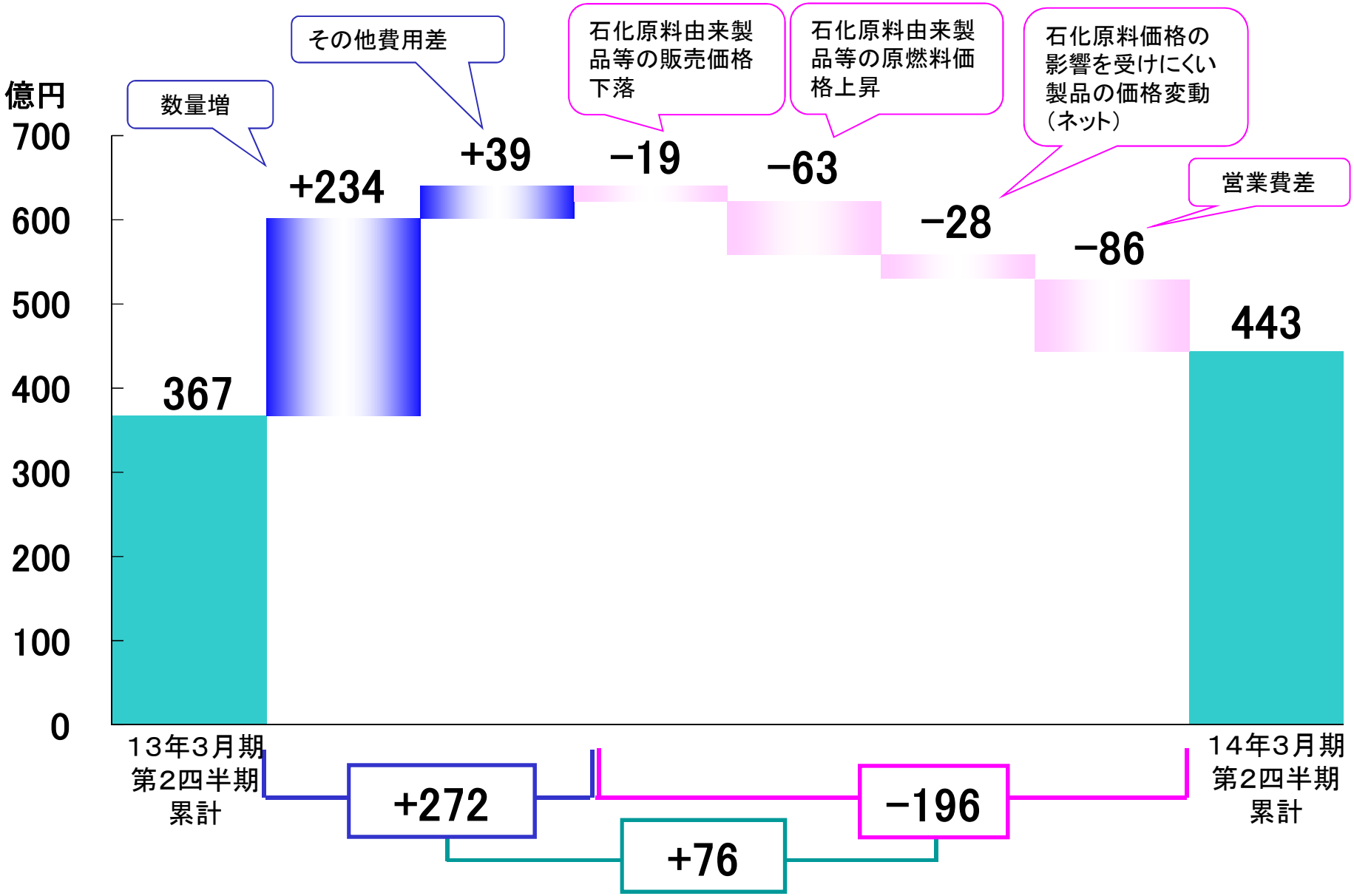
医薬品では、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ® * の販売は堅調に推移したが、その他の医薬品は競合激化の影響を受けた。医療機器では、ポリスルホン膜人工腎臓トレスルホン® が、堅調に推移したが、透析機器の販売は低調に推移。

2Q累計（4～9月）

医薬品では、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ® * の販売が拡大したが、その他の医薬品は競合激化の影響を受けた。また、ライセンス料収入も減少。医療機器では、ポリスルホン膜人工腎臓トレスルホン®、トレライト® が、国内販売に加え輸出も堅調だったが、透析機器の販売は低調に推移。

* レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析（第2四半期累計期間）



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況（第2四半期累計期間）

TORAY
Innovation by Chemistry

億円

		売上高			営業利益		
		13年3月期 第2四半期累計 実績(4～9月)	**14年3月期 第2四半期累計 実績(4～9月)**	増減	13年3月期 第2四半期累計 実績(4～9月)	**14年3月期 第2四半期累計 実績(4～9月)**	増減
東レインターナショナル		2,127	**2,535**	+407	43	**53**	+10
東レエンジニアリング		401	**307**	−94	▲3	**▲7**	−4
東レ建設		204	**215**	+11	5	**4**	−2
東レフィルム加工		237	**213**	−25	12	**6**	−6
東レ・メディカル		196	**195**	−1	8	**7**	−1
TAK（韓国）		461	**570**	+109	62	**63**	+1
TPM（マレーシア）		297	**352**	+54	8	**14**	+6
在東南アジア・子会社　＊1	繊維	439	**572**	+133	▲2	**20**	+22
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	347	**407**	+60	20	**18**	−2
	その他	41	**43**	+2	2	**2**	+0
	計	827	**1,021**	+195	20	**40**	+20
在中国・子会社　＊2	繊維	526	**825**	+299	51	**76**	+25
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	274	**311**	+37	3	**7**	+4
	その他	60	**84**	+24	▲4	**▲0**	+4
	計	860	**1,220**	+360	50	**83**	+32
在外・フィルム子会社　＊3	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	397	**485**	+88	40	**25**	−14
	情報通信材料・機器	246	**316**	+69	37	**45**	+8
	計	643	**800**	+157	77	**70**	−6

＊1：ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB－G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計
＊2：TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK－G、TPCH－G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC 単純合計
＊3：TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

セグメント別営業利益　1Qvs2Q比較

TORAY
Innovation by Chemistry

億円

セグメント	営業利益 14年3月期1Q→ 14年3月期2Q （ ）内差異	増減益要因
繊維	103→ 139 （＋36）	・機能性秋冬物の縫製品の出荷が順調にスタート。 ・中国のテキスタイル子会社及び海外のエアバッグ関連事業が堅調に推移。
プラスチック ・ケミカル	43→ 47 （＋4）	・海外フィルム子会社が、高付加価値品を拡販。
情報通信材料 ・機器	45→ 63 （＋18）	・液晶パネル向けフィルム等の拡販を推進。
炭素繊維 複合材料	25→ 45 （＋20）	・航空宇宙用途、圧縮天然ガスタンク向けをはじめとした一般産業用途とも好調に推移。
環境・エンジニアリング	2→ 4 （＋2）	・水処理膜事業は、堅調に推移。 ・エンジニアリング子会社が、産業機器の拡販を推進。
ライフサイエンス	7→ 12 （＋5）	・医療機器子会社が、敗血症治療用血液浄化器トレミキシン®等の拡販を推進。
その他	2→ 5 （＋3）	
調整額	▲47→▲53 （－6）	
連結	180→263 （＋82）	

Ⅱ．2014年3月期連結業績見通し

2014年3月期連結業績見通し

億円

		13年3月期 実績	14年3月期 見通し	対前年同期比 増減		前回見通し	前回見通しとの差異
売上高	上期	7,537	8,538	+1,000	(+13.3%)	8,450	+88
	下期	8,386	9,962	+1,577	(+18.8%)	10,050	−88
	通期	**15,923**	**18,500**	**+2,577**	**(+16.2%)**	**18,500**	**ー**
営業利益	上期	367	443	+76	(+20.7%)	450	−7
	下期	467	757	+290	(+62.0%)	750	+7
	通期	**834**	**1,200**	**+366**	**(+43.8%)**	**1,200**	**ー**
経常利益	上期	380	465	+85	(+22.3%)	450	+15
	下期	502	735	+233	(+46.3%)	750	−15
	通期	**882**	**1,200**	**+318**	**(+36.0%)**	**1,200**	**ー**
当期純利益	上期	200	294	+94	(+46.8%)	250	+44
	下期	285	356	+72	(+25.1%)	400	−44
	通期	**485**	**650**	**+165**	**(+34.1%)**	**650**	**ー**

1株当たり当期純利益	上期	12.28円	18.03円
	下期	17.47円	21.87円
	通期	**29.75円**	**39.90円**
1株当たり配当金	上期	5.00円	5.00円
	下期	5.00円	5.00円
	通期	**10.00円**	**10.00円**

備考： 為替レートの前提は、95円／US＄（10月以降）
原油価格見通しは、110US＄／B
（DUBAI FOB）（10月以降）

セグメント別業績見通し（売上高／営業利益）

TORAY
Innovation by Chemistry

億円

		13年3月期 実績			14年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	2,889	3,433	6,322	3,351	4,149	7,500	+462	+716	+1,179	+51	+49	+100
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	1,950	2,009	3,958	2,280	2,320	4,600	+330	+311	+642	+80	−80	—
	情報通信材料・機器	1,211	1,165	2,376	1,220	1,380	2,600	+8	+216	+224	−80	−20	−100
	炭素繊維複合材料	365	411	776	521	579	1,100	+155	+168	+324	+21	+29	+50
	環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	781	1,002	1,784	831	1,119	1,950	+49	+117	+166	+31	−31	—
	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	270	296	566	266	334	600	−4	+38	+34	−14	−36	−50
	その他	71	70	141	69	81	150	−2	+11	+9	−1	+1	—
	連結	7,537	8,386	15,923	8,538	9,962	18,500	+1,000	+1,577	+2,577	+88	−88	—
営業利益	繊維	185	247	432	242	308	550	+56	+61	+118	+22	−2	+20
	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ・ｹﾐｶﾙ	105	78	183	90	130	220	−15	+52	+37	−20	−0	−20
	情報通信材料・機器	96	133	230	108	202	310	+12	+69	+80	−22	−18	−40
	炭素繊維複合材料	42	31	73	71	89	160	+29	+58	+87	+11	+19	+30
	環境・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	▲ 0	27	26	6	64	70	+7	+37	+44	+6	+4	+10
	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	30	45	75	19	51	70	−11	+7	−5	−1	+1	—
	その他	7	9	16	7	13	20	+0	+4	+4	−3	+3	—
	調整額	▲ 98	▲ 102	▲ 200	▲ 100	▲ 100	▲ 200	−2	+2	−0	−0	+0	—
	連結	367	467	834	443	757	1,200	+76	+290	+366	−7	+7	—

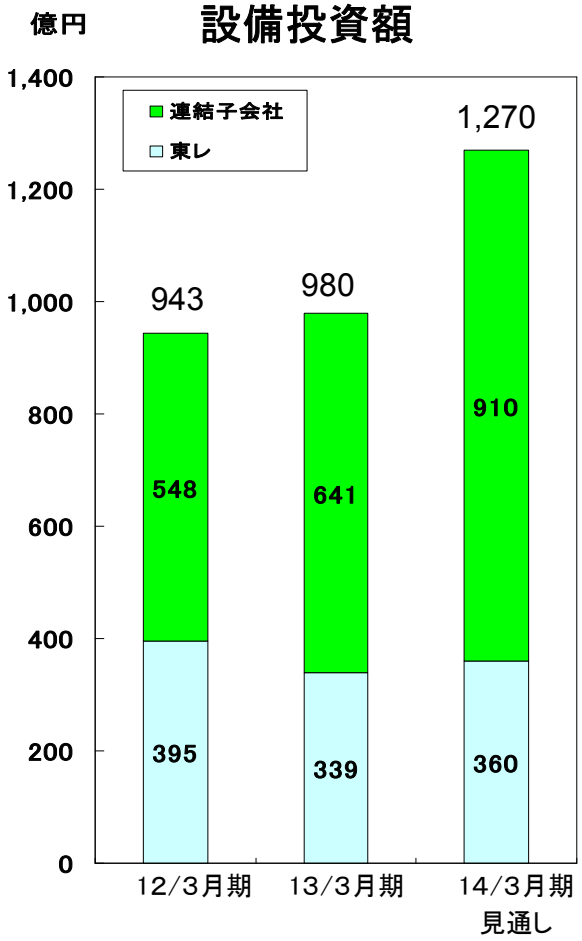
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

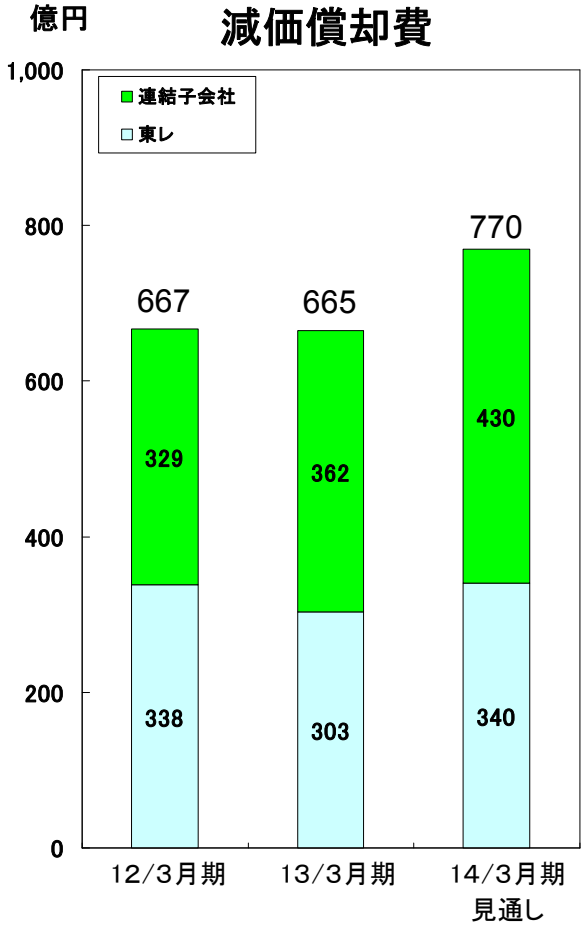
TORAY Innovation by Chemistry

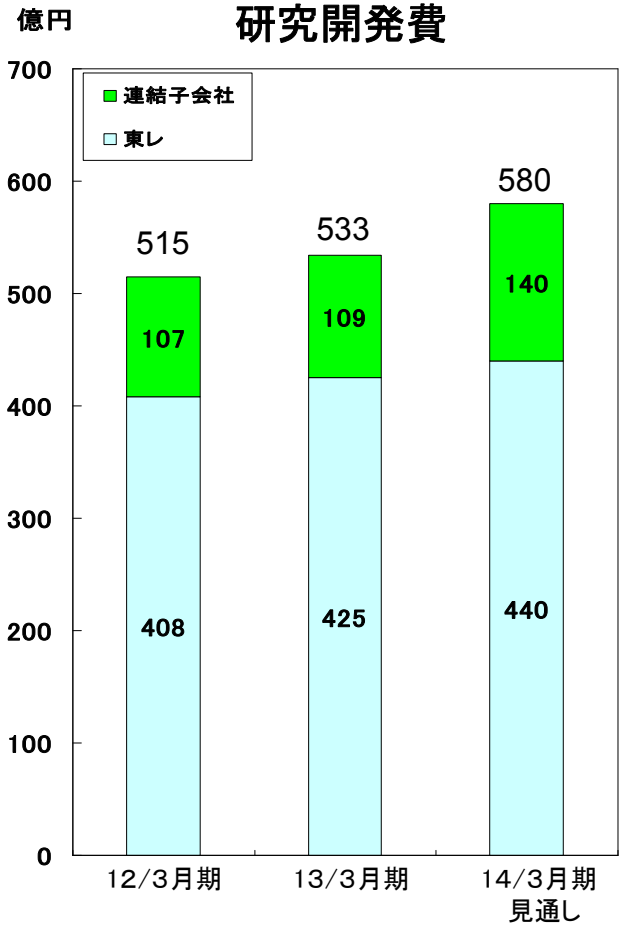
億円

セグメント	通期営業利益 前回見通し→ 今回見通し （ ）内差異	増減益要因
繊維	530→550 （＋20）	・国内外の需要動向には不透明な部分もあるが、徹底的な売り抜きとコスト削減を推進。
プラスチック ・ケミカル	240→220 （－20）	・包装・工業材料ﾌｨﾙﾑの需要回復に加え、上期に遅れた太陽電池用ﾊﾞｯｸｼｰﾄ向けﾌｨﾙﾑの採用拡大を見込む。 ・需要好調な自動車向けｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞﾌﾟﾗｽﾁｯｸの拡販を進める。
情報通信材料 ・機器	350→310 （－40）	・液晶パネルメーカーの生産調整による液晶パネル向けフィルムの需要回復が遅れることを織り込む。
炭素繊維 複合材料	130→160 （＋30）	・航空機用途をはじめ、引き続き好調な推移を見込む。
環境 ・エンジニアリング	60→70 （＋10）	・水処理膜事業は、堅調に推移。
ライフサイエンス	70→70 （±0）	・前回見通し通り。
その他	20→20 （±0）	・前回見通し通り。
調整額	▲200→▲200 （±0）	
連結	1，200→1，200 （±0）	

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し







本資料中の2014年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。